

# 行政改革に取り組みんでいます!!

市は、行政改革に積極的に取り組み、効率的かつ効果的な行政経営に努めています。今回は、その取り組みの中から、公共施設マネジメント業務と行政評価の実施状況についてお知らせします。

くわくは 行政改革課 ☎(25)7722

## 公共施設マネジメント業務

市は、保有し管理運営をしている公共施設(建築物)について、さまざまな面から実態を把握するため、「日光市公共施設マネジメント白書」を作成しました。

この白書は各総合支所・支所・出張所で閲覧できる他、市ホームページで確認できます。

## 更新問題とは

今後、市の人口が減少していく一方で、公共施設が老朽化し、施設の維持費用(改修・更新費用など)が増大していきます。また施設の更新時期が集中し、財政状況を圧迫します。これが「公共施設の更新問題」であり、全国的に自治体共通の課題と

なっています。特に日光市は、多くの公共施設を抱えています。下表のとおり、市一人当たりの公共施設延床面積が、全国の自治体平均を大きく上回っていることから明らかです。

表：人口1人当たりの公共施設延床面積の比較(2010年現在)

区分	(㎡/人)
日光市	5.47
全国平均	3.42
人口8~9万人自治体平均	3.40
県内市平均	3.71

※市および東洋大学PPP研究センターによるデータ

総務省の試算ソフトによれば、現在市が保有する多くの公共施設(インフラ資産を含む)を今後40年間にわたり良好に維持管理するためには、現在の1.5倍の予算が必要です。しかし、現在の予算の財源は、合

## このままでは…

併特例債など合併に伴う財政支援措置に依存している部分が多く、財政支援措置の終了後は、人口減少に伴う市税収入の減収や少子高齢化に伴う扶助費の増加などにより、ますます厳しい財政運営を迫られる事になります。そのような中で、公共施設を現在の規模で維持管理していくとすると、本当に必要な行政サービスの提供にまで影響を及ぼしかねません。

## 公共施設マネジメント計画を策定します

このため、従来の行政サービスの見直しだけでなく、公共施設の適正な規模とあり方を考えていく必要があります。そこで、白書を活用し、公共施設

## 行政評価の実施状況

市は、事業について評価検証し、見直しを行うために、毎年度職員自らが事務事業評価(過年度の事務事業に関しての行政評価)を行っています。評価結果については、ホームページ上に事業のチェックシート(評価内容)を全て公表しています。

## 市民評価の実施

職員が実施した事務事業評価に対し、市民の視点からの評価や意見を直接お聞きすることで、より市民ニーズを捉えた行政評価とするため、公開による市民評価も実施しています。市民評価の主な意見および対応方針などについては、下表のとおりです。

## 市民評価の概要

- 日時 平成24年8月26日(日) 午前9時30分～午後5時
- 場所 大沢公民館
- 対象 11事業
- 市民委員会構成 公募委員3名・各種団体代表6名・進行担当者(宇都宮大学教授)2名

表：市民評価の主な意見および対応方針

主な意見	対応方針
<p>体験交流型観光推進事業(ツール・ド・NIKKO)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周知不足。全国レベルの周知方法や周知メディアを再考すべき。</li> <li>○他で行われている同様の大会との差別化を図り、大会の独自性を出すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成25年度の開催に当たり、現在の周知方法に加え、全国レベルの周知方法について研究し、より効果的な周知を実施。</li> <li>○日光の自然を生かしたコースの実現や、地元素材をアピールするなど、食の魅力と観光を結びつけた観光振興の充実を図る。</li> </ul>
<p>文化財保存整備費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史的価値のある文化財についての情報収集・発掘に早急に努めて欲しい。</li> <li>○非常に大切な事業であり、さらに充実されることに期待。地道な普及活動を継続して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の指定文化財候補を発掘するため、文化財保護審議会、文化財専門調査委員会などを活用し、調査の充実を図る。</li> <li>○歴史民俗資料館をリニューアルし、文化財に関する情報発信を強化する。</li> </ul>

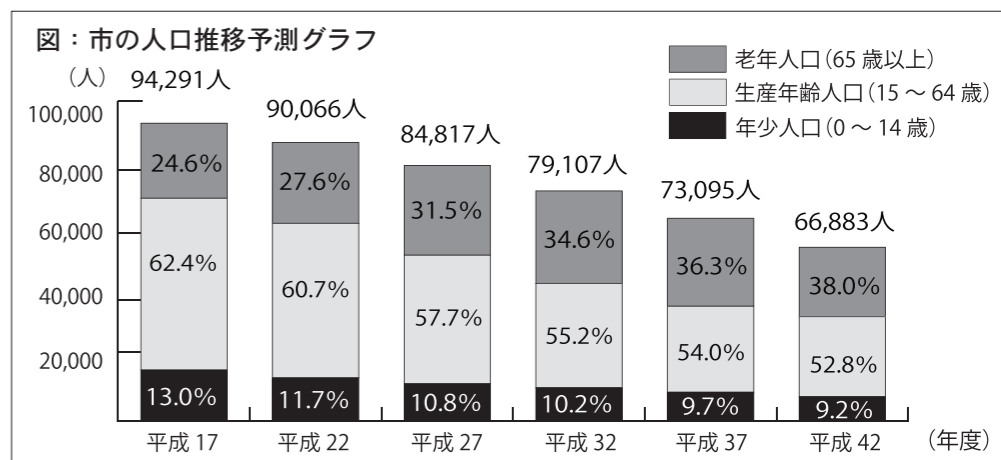
※この他に、食の産業都市推進事業、介護支援ボランティア活動事業費など、全11事務事業の市民評価を実施しました。詳細は、市ホームページで確認できます。

## 行政評価市民委員の声

今回、市民委員として行政評価に参加させていただきました。事業に対しては、市民アンケートの「満足」「やや満足」が着実に上昇しているように、真摯な取り組みと成果を評価することができました。委員会の質疑応答で感じたことは、市職員が目的のため努力した成果が市民に見えづらいという点です。広報紙で財政状況などが開示されていますが、さらに進んだ「見える化」を工夫することで、職員のモチベーション向上にもつながると思います。日光市は、他の市町村に先駆けて行政評価を実施しています。これをより活発化させるため、市民ニーズを行政に反映できる協働の仕組みの構築が必要と感じます。市の総合計画も、平成24年度から後期基本計画が始まっています。新しい日光を創造する「日光創新」で、安心して住みやすい日光市ができるよう、これからも応援したいと思えます。



行政評価市民委員  
いなぎやすお  
稲垣保男さん



を通じた行政サービスの現状と課題をさらに明確にしていくことが重要です。次世代に負担を残さない、効率的・効果的な市政経営を実現するため、今後、公共施設の基本方針・保全計画を策定するとともに、平成27年度を目標に、公共施設の再編計画を策定する予定です。